



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社ビースタイルホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 302A URL <https://www.bstylegroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 増村 一郎 (TEL) 03(5363)4400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,251	5.5	△99	—	△105	—	△126	—
2026年3月期第1四半期	3,081	—	117	—	115	—	73	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △123百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 74百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△43.42	—
2026年3月期第1四半期	25.50	24.35

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等に基づき、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,991	1,191	29.9
2026年3月期	3,875	1,315	33.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 1,191百万円 2026年3月期 1,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,568	21.3	300	58.4	268	51.6	161	213.9	55.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	2,909,968株	2026年3月期	2,909,968株
2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
2027年3月期1Q	2,909,968株	2026年3月期1Q	2,899,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、「期末発行済株式数 (自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数 (四半期累計)」は、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等に基づき、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明動画の入手方法)

当社は決算補足説明動画を決算発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、継続する物価高が個人消費の重荷となっているものの、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復傾向にあります。一方で、米国の関税政策の影響や中東情勢等の地政学リスク、為替やエネルギー価格の変動など、企業業績を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの人材サービス業界の市場動向については、日本国内の有効求人倍率は1.18倍と堅調に推移しております。企業においては少子高齢化に伴う構造的な人手不足への対応が慢性的な課題となっており、採用ニーズの拡大や人材の流動化が今後さらに進むと予想されます。また、働き方の多様化やワークライフバランスを重視する意識の高まりを受け、個人のライフステージやニーズに応じた柔軟な働き方を提供することが一層求められております。

このような状況のもと、当社グループは世界を変えるソーシャルカンパニーとして、経営理念であるパーパス(PURPOSE)不変の存在意義は、「時代に合わせた価値を創造する」、バリュー(VALUE)大切な価値観は、「四方よし 買ってよし・売ってよし・世間よし・仲間よし」、ミッション(MISSION)果たすべき使命は、「社会課題をビジネスで解決する」、ビジョン(VISION)目指す未来は、「かかわる全ての人がしあわせ」のもとに、業績の向上と企業価値の増大に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、連結売上高3,251,459千円(前年同期比5.5%増)、売上総利益1,653,658千円(前年同期比9.0%増)、営業損失99,467千円(前年同期は営業利益117,848千円)、税金等調整前四半期純損失105,099千円(前年同期は税金等調整前四半期純利益115,014千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失126,347千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益73,941千円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(派遣・紹介事業)

派遣・紹介事業は、豊富な経験・高いスキルを有する自走型人材の人材派遣、オフィスワーク経験豊富な主婦を中心にパート型派遣・紹介のサービスを展開しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業における稼働人数の減少に伴い、人材派遣売上が減少いたしました。人材紹介事業では時短正社員の紹介における就業決定数の減少に伴い、人材紹介売上が減少いたしました。一方で、メディカル領域事業は、関東エリアにおける新エリア(神奈川・埼玉)が好調に推移し、関西エリア(大阪・神戸)においても順調に立ち上がり受注獲得が堅調に推移いたしました。以上の結果、売上高が1,760,599千円(前年同期比1.2%増)、セグメント損失9,468千円(前年同期はセグメント利益116,393千円)となりました。

(メディア事業)

メディア事業は、しゅふの労働力を求める企業と働く条件の多いしゅふのお互いのニーズを満たした情報を提供する、求人サイト「しゅふJOB」の運営を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、関東、関西、中京に加え福岡エリアにてCM放映を実施いたしました。これにより「しゅふ層」と求人企業を結ぶ求人メディアとしてのブランド認知が向上し、求人への応募数が伸びました。以上の結果、売上高が1,290,181千円(前年同期比12.4%増)、セグメント利益231,790千円(前年同期比40.4%減)となりました。

(DX事業)

DX事業は、BPA(ビジネス・プロセス・オートメーション)事業、ITエンジニア派遣・業務委託サービス事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、BPA事業における稼働人数が増加し、稼働売上が増加いたしました。新規事業としてRPOサービスの提供を本格的に開始いたしました。以上の結果、売上高は259,227千円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益1,772千円(前年同期比86.9%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、障がい者雇用推進、当社グループ内業務代行サービスを提供しております。売上高は23,288千円(前年同期比22.5%減)、セグメント利益2,378千円(前年同期比69.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ115,997千円増加し、3,991,049千円となりました。流動資産合計は前連結会計年度末に比べ96,510千円減少し、3,262,676千円となりました。これは主に仕掛品が10,545千円、および前払費用が9,956千円増加した一方、未払金の支払いや未払法人税等の支払いにより現金及び預金が155,755千円減少したことによるものであります。固定資産合計は前連結会計年度末に比べ212,508千円増加し、728,372千円となりました。これは主にのれんの取得により60,801千円、およびソフトウェア開発により29,308千円、無形固定資産が増加した一方、減価償却およびのれん償却により32,512千円減少したことによるものであります。投資その他の資産は、主に敷金の差入れが168,824千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ239,384千円増加し、2,799,384千円となりました。これは主に未払金が91,760千円、未払消費税等が71,881千円、賞与引当金が68,399千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ123,387千円減少し、1,191,664千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が126,347千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表の業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,980,221	1,824,466
売掛金	1,263,457	1,277,127
仕掛品	—	10,545
その他	128,397	164,083
貸倒引当金	△12,889	△13,546
流動資産合計	3,359,187	3,262,676
固定資産		
有形固定資産	174,372	167,148
無形固定資産		
ソフトウェア	140,687	125,444
ソフトウェア仮勘定	112,910	140,018
のれん	16,603	72,281
リース資産	9,058	6,340
その他	1,251	1,249
無形固定資産合計	280,511	345,334
投資その他の資産		
投資有価証券	25,873	30,196
繰延税金資産	8,791	11,534
その他	31,814	178,159
貸倒引当金	△5,500	△4,000
投資その他の資産合計	60,979	215,890
固定資産合計	515,864	728,372
資産合計	3,875,051	3,991,049

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	387,996	410,424
1年内返済予定の長期借入金	142,800	142,800
リース債務	10,240	7,179
未払金	380,671	472,431
預り金	74,961	109,196
未払法人税等	52,227	26,445
未払消費税等	106,831	178,713
賞与引当金	124,162	192,562
その他	3,113	18,335
流動負債合計	1,283,004	1,558,089
固定負債		
長期借入金	1,235,900	1,200,200
資産除去債務	41,095	41,095
固定負債合計	1,276,995	1,241,295
負債合計	2,560,000	2,799,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	310,095	310,095
資本剰余金	235,845	235,845
利益剰余金	765,724	639,377
株主資本合計	1,311,666	1,185,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,385	6,346
その他の包括利益累計額合計	3,385	6,346
純資産合計	1,315,051	1,191,664
負債純資産合計	3,875,051	3,991,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,081,372	3,251,459
売上原価	1,563,775	1,597,800
売上総利益	1,517,597	1,653,658
販売費及び一般管理費	1,399,748	1,753,126
営業利益又は営業損失(△)	117,848	△99,467
営業外収益		
受取利息及び配当金	86	422
助成金収入	833	1,483
貸倒引当金戻入額	1,500	1,500
その他	405	168
営業外収益合計	2,824	3,574
営業外費用		
支払利息	5,089	8,956
支払手数料	250	249
その他	318	—
営業外費用合計	5,658	9,206
経常利益又は経常損失(△)	115,014	△105,099
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	115,014	△105,099
法人税、住民税及び事業税	43,458	25,354
法人税等調整額	△2,385	△4,105
法人税等合計	41,073	21,248
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,941	△126,347
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	73,941	△126,347

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,941	△126,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	487	2,960
その他の包括利益合計	487	2,960
四半期包括利益	74,428	△123,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,428	△123,387

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事業 (注1)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,726,377	1,139,407	211,433	4,153	—	3,081,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,170	8,474	17,325	25,910	△65,880	—
計	1,740,548	1,147,881	228,758	30,064	△65,880	3,081,372
セグメント利益又は損失(△)	116,393	388,683	13,506	7,731	△408,466	117,848

(注) 1. 「その他の事業」は、障がい者支援を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△408,466千円は、セグメント間取引消去等の調整額及びグループ管理費が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事業 (注1)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,750,991	1,277,620	222,005	841	—	3,251,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,607	12,560	37,222	22,447	△81,837	—
計	1,760,599	1,290,181	259,227	23,288	△81,837	3,251,459
セグメント利益又は損失(△)	△9,468	231,790	1,772	2,378	△325,940	△99,467

(注) 1. 「その他の事業」は、障がい者支援を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△325,940千円は、セグメント間取引消去等の調整額及びグループ管理費が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事 業	計		
当第1四半期償却額	5,123	—	—	—	5,123	—	5,123
当第1四半期末残高	72,281	—	—	—	72,281	—	72,281

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	31,668千円	27,388千円
のれんの償却額	—千円	5,123千円